

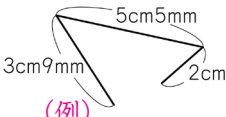
ハイレベル

11

たすのかな ひくのかな

□ 月 □ 日

1 はり金を おりまげて 下の 図のような 形を つくりました。どれだけの 長さの はり金をつかったでしょう。



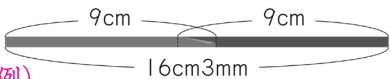
まっすぐにのばしたらどうなるかな。

(例)

しき $3\text{cm}9\text{mm} + 5\text{cm}5\text{mm} + 2\text{cm} = 11\text{cm}4\text{mm}$

(mmに換算しても可。) 答え 11 cm 4 mm

2 9cm の テープが 2本 あります。下の 図のように かさねて つなげたら テープの 長さが 16cm3mm になりました。かさねた ぶぶんの 長さは どれだけでしょう。



(例)

しき $9\text{cm} + 9\text{cm} = 18\text{cm}$
 $18\text{cm} - 16\text{cm}3\text{mm} = 1\text{cm}7\text{mm}$

(mmに換算しても可。) 答え 1 cm 7 mm

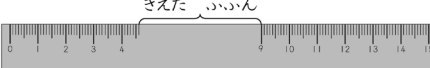
3 ものさしの 目もりが きえて、下の 絵のように なってしまいました。目もりが きえた ぶぶんの 長さは どれだけでしょう。計算で 答えを もとめましょう。



きえた ぶぶん

しき $14 - 6 = 8$ 答え 8 cm

2 下の 図のように 9cm の テープと 4cm6mm の テープを つなげたら 7cm3mm になりました。かさねた ぶぶんの 長さは どれだけでしょう。



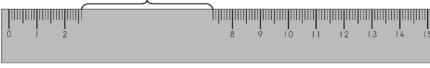
しき $9\text{cm} - 4\text{cm}6\text{mm} = 4\text{cm}4\text{mm}$

考え方 ① と 同じだよ。 たんに 気をつけて 計算しよう。

答え 4 cm 4 mm

(mmに換算しても可。)

3 下の 図のように 7cm3mm の テープと 2cm6mm の テープを つなげたら 5cm7mm になりました。かさねた ぶぶんの 長さは どれだけでしょう。



しき $7\text{cm}3\text{mm} - 2\text{cm}6\text{mm} = 4\text{cm}7\text{mm}$

(mmに換算しても可。) 答え 4 cm 7 mm

今回の学習のねらい

- ・長さに関する応用問題に挑戦する。
- ・問題文と図から、たし算かひき算かを正しく判断できるようにする。

アドバイスと支援のポイント

文章題でも計算問題でもなく、図を見て考える問題です。こうしたタイプの問題には、あまり取り組んだことがないかもしれません。戸惑っているようでしたら、おうちのかたも一緒に取り組んであげてください。どの問題も、ポイントは、単位の違いと、cm・mm 間の繰り上がりや繰り下がりにつけて計算することです。お子さまはものさしで図の長さを測ろうとするかもしれませんが、図は実寸大ではありませんので、ここでは測定ではなく計算によって答えを求めます。

1は、「 $a + b + c$ 」という、3つの数のたし算になります。たす順序は、上記解答のとおりでなくてもかまいません。「 $3\text{cm}9\text{mm} + 2\text{cm} + 5\text{cm}5\text{mm}$ 」や、それ以外でも正解です。どの順序で計算するのがいちばん楽か、いろいろと試してみるのも、よい学習になります。また、式を2つに分けてもかまいません。

2と同じような場面は **4**「長さの計算②」 **4** で取り

上げました。**4**「長さの計算②」 **4** とは長さがわかっている箇所に違いがあるため、注意が必要です。また、この問題もいろいろな解き方がありますので、上記解答と違って、お子さまの考えが合っていたら丸をつけてあげてください。

3は、ひき算を発想するのが難しい場面です。導入として、①ではあらかじめ式を提示しました。ただし、この問題は「 $15 - 6 - 1$ 」と考えて答えを出すこともできます。また、②以降では、繰り下がり処理にあたって、単位の換算も行わなければなりません。難しいので、時間は気にせず、じっくり取り組んでください。③は、①、②と比べて消えた部分の右側の目盛りがすぐに読み取れないという点で難しく感じられるかと思います。8cm より 7mm 小さいところと考えるてももちろんよいのですが、5mm 単位の目盛りに注目して、7cm5mm から 2mm 小さいところと考えることもできることを教えてあげてください。